

平成28年度 阿賀野市総合・外国語活動部 活動報告

部長 戸松 隆行

1 研究主題

子どもたちが主体的に学ぶ授業のための教材開発

2 研究の概要

4月20日（水） 組織の構成・役割分担・事業計画の作成
6月 7日（火） 見学・講話「藤岡染工場の見学・講話」
11月22日（火） 研修会「外国語活動授業の進め方」

3 研究の実際

（1）見学・講話

①研修テーマ「阿賀野市内の伝統工業についての見識を深める」 於：藤岡染工場
講師 専務 藤岡 利明 様

②内 容

地域にある伝統工業を見学・体験し、見識を深めることができた。工場見学では、伝統的な作業方法を取りながらも、現代の方のニーズに合うように様々な工夫を行っていることを学んだ。御講話の中で、「伝統は進化し続けなければいけない」という熱い思いを聞かせていただき、職人さんの1つ1つ丁寧かつ真剣な表情で仕事に取り組む姿に感銘を受けた。



（2）研修会

①研修テーマ「外国語活動の授業の進め方」

講師：McAllister, Kenneth Niall 様（インタラック 阿賀野市 ALT）

②内 容

研修では、授業を始める・終わるときの挨拶の仕方や子どもへのほめ方、授業の組み立て方等について、改めて学ぶことができた。

また、ゲームや他者との交流を活用したアクティビティを紹介していただいた。研修を受けた先生方は、児童の立場になりきって楽しく活動していた。普段、下学年を担当されている先生方にとっても、十分に英語に親しめるよい機会となった。



4 成果と課題

地域には様々な教材（人・もの・こと）があるにも関わらず、なかなか把握・活用しきれていない。今回も江戸時代から続いている伝統工業があるにも関わらず、今回初めて知る職員が多かった。今後、「地域教育プログラム」が各校で推進されていくのであれば、地域をもっと知る必要がある。

外国語活動についても、学年によって意識の差が依然としてある。今後、3・4年生での外国語活動、5・6年生の外国語（英語）の教科化を考えると、英語に対する意識をもう少し高めていかなければならない。今後も、部会で学んだ「グローバル」な意識をもって、教材研究に励んでいきたい。